



多摩丘陵の里山文化を次世代に！

八王子市長池公園は、多摩川支流、大栗川の源流域に位置し、「里山の文化の継承と創造」をテーマとして、江戸時代から残るため池を中心に里山の自然を広く保全した公園です。そして、四谷見附から歴史遺産として移築された長池見附橋と、新たにデザインされた姿池の調和が、都市における人と自然の新しい共生の姿を象徴しています。

■ 長池公園はどこにあるの？

東京都心部から約40^分、八王子市の東部地域、多摩ニュータウン西部に位置しています。八王子市中心市街地からは直線距離にして6～7^分のところですよ。



■ 長池公園のなりたち

戦後の高度経済成長期、増大する東京大都市圏居住者の住宅難に対応するため、多摩地域に日本最大規模のニュータウンが計画されたのは1965年のことです。その後の多摩ニュータウン2884^戸の開発では、大規模に丘陵地が改変されていく現実がありましたが、1984年、特筆すべき自然が広がっていた蓮生寺から長池周辺域を保全地域とする提案がなされ、「里山公園構想」に基づき1994年から整備が始まり、2000年に開園しました。約20^{ha}の面積を有する長池公園は、多摩丘陵の原地形を可能な限り残した自然保全型公園であり、旧別所川の流れを再現したせせらぎ緑道を通じて、照葉樹林を特徴とする蓮生寺公園へとつながっています。

■ 豊かな自然環境

長池公園は、多摩川水系大栗川支流旧別所川の源流部にあたり、二つのため池を中心にした多様な水辺環境と広大な雑木林が、豊かな自然を生みだしています。

園内には約800種以上の植物が自生しており、多様な植生を舞台に、アナグマやノウサギなどの哺乳類、ヤマアカガエルやジムグリなどの両生・爬虫類をはじめ、さまざまな動物が生息しています。長池に隣接したハンノキ林は、サワギョウやノハナショウブなどの湿生植物が遺存していたことから1978年に特定植物群落（環境省指定）に指定され、サラサヤナマやミドリシジミなど希少な昆虫類も確認されています。



■ 里山公園構想と資源の有効活用

長池公園の「里山公園構想」では、里山は手つかずの自然ではなく、かつての多摩の里びとが利用し維持してきた自然であることから、新しい里びとであるニュータウン住民が中心となって公園として残された自然とその文化を保全し、継承する活動を行う提案がなされています。こうした理由から、長池公園では、積極的に林床や草地に繁茂するアズマネザサを刈って多様な草本類や昆虫たちの生息環境を創出しています。また、樹林の皆伐更新を行って雑木林の再生を行うとともに、長池里山クラブの活動による炭焼きをはじめ、支柱木や竹の利用等、公園管理による多様な発生材の有効活用を行っています。

■ 長池公園自然館（長池ネイチャーセンター）

長池公園自然館は、地区公園の管理棟であると同時に、里山の自然や文化を学び、体験するビジターセンター機能を有しており、会議室、工作室、展示室等の設備も備えた体験学習施設として利用されています。



■ 環境共生型の建築

自然館は、建物全体が公園の里山景観に溶け込むように設計されています。また、自然環境との共生を図るため、以下のような工夫が施されています。

- 自然地形を活かした設計による里山景観との一体化
- 屋根で暖めた外気を床暖房へ利用するパッシブソーラーシステム
- 屋上と壁面の緑化による修景緑化と室温調整機能の強化
- 開口部を大きくとり、自然光と風を積極的に利用
- 直射日光の当たる位置に蓄熱効果のある床石を配置しての太陽熱利用
- クールチューブ埋設による、夏涼しく冬温かな空気空調への利用
- 屋上に設置したソーラーパネルで太陽光発電を実施
- 三重窓構造による断熱性能強化



自然館の屋上緑化



みんなで創るみどりのかたち

長池公園は地域の人々の憩いとくつろぎの場であるとともに、貴重な自然保全の場でもあります。私たちは公園を美しく保ち、来園者が快適に過ごせるように努める一方、里山の景観や希少生物の保全・保護にも力を入れています。また、こうした活動に、さまざまな立場の人たちが参加できる機会をつくり、まさに、みんなでつくる長池公園を実践しています。

■ 指定管理による公園管理

八王子市内には800以上の公園・緑地があり、ブロック別に指定管理者が行政のパートナーとなり、管理運営を担っています。このうち、長池公園を含む東由木地区公園81箇所を、2017年より私たち「ひとまちみどり由木」が管理を受託して現在に至ります。「ひとまちみどり由木」は、東由木地区の公園や緑地の魅力や可能性を最大限に引き出し、地域の皆さまとともに、人と自然に寄り添い、賑わいと潤いのある街づくりに貢献しています。

※「ひとまちみどり由木」は、NPOフュージョン長池、(株)桂造園、(株)斎藤造園、(株)日本タスクスから構成される共同事業体です。



<https://www.h-yugi.org>

■ 協働で成り立つ里山保全

公園アドプト団体で、開園当初から里山活動を行っている市民組織「長池里山クラブ」の活動を中心に、小学生や中学生の総合学習や職場体験、大学インターンシップ活動、企業のCSR活動受入れ、福祉団体との協働、リタイア世代のパートスタッフやボランティアによる緑地管理、公園アドプト団体「長池ガーデニングクラブ」等、さまざまな立場からの参加により、公園の美化や里山保全活動が進められています。なお、近年は、月曜日の午後、健康維持を兼ねたササ刈りを行うボランティア活動、「里山保全隊」がコンスタントに活動を継続しており、里山環境の保全に大きな効果を上げています。



公園利用にあたってのお願い

来園者の皆さまに快適に、そして安全・安心に公園でお過ごしいただくため、公園内で守っていただきたいルールやマナーがあります。こうしたルールやマナーは、園内各所にマナーサインとして掲示させていただいております。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



- 公園内にゴミ箱はありません。ゴミはご自身でお持ち帰りください。



- 長池公園動植物情報
長池公園の旬の動植物情報は
こちらをご覧ください！



テーマは「里山文化の継承と創造」です

八王子市

長池公園



八王子市長池公園は八王子市都市公園指定管理者「ひとまちみどり由木」によって管理運営されています。

<https://www.h-yugi.org/nagaikepark>

このパンフレットは「ながいけ緑の基金」でつくられました。
みなさまのご協力に感謝いたします。



Hito Machi Midori Yugi



交通案内



◆バスをご利用の場合

南大沢駅から京王バス・神奈中バス【堀 03】で「長池小学校入口」(約7分)下車 徒歩約3分

長池公園自然館

■開館時間：9:00～17:00

■休館日：12月29日～1月3日

電話：042-678-4616 FAX：042-678-4647

〒192-0363 東京都八王子市別所2-58

八王子市都市公園指定管理者：ひとまちみどり由木

NAGAIKE PARK NATURE CENTER
長池公園自然館
(長池ネイチャーセンター)





園内 見どころとイベント

■ 北エントランスゾーン

自然館を核として、芝生や草地、池などが配置された多目的なエリアです。農業用のため池として利用されていた築池（つくいけ）と、現代的デザインの姿池が美しく調和した風景の中に、ススキやヨシを刈り残した斜面草地が広がり、人が憩えると同時に、野鳥や小動物たちも生息できる素敵な空間となっています。姿池に架かるネオバロック様式の長池見附橋は、1913（大正2）年に落成の旧四谷見附橋が掛け替えとなった際、都内最古の陸橋であったことから保存活用が決定し、1993（平成5）年に長池公園に移築復元されたものです。



■ 体験ゾーン

里山の原風景が再現されたエリアです。築池東南部の谷戸に広がる田んぼや畑、炭焼き小屋などの昔懐かしい田園風景は、公園アドプト団体である長池里山クラブの里山活動の舞台となっています。湿地にはサワギキョウやミズオトギリなどの美しい野草が保全され、農薬を使用しない田んぼには、ドジョウや多くの水生昆虫が生息しています。



■ 特別保全ゾーン

長池とこれを囲む樹林を保全した4畝のエリアは、野生動植物の保護地として立入禁止区域となっています。ハンノキ林からわき出す湧水をたたえた長池は、江戸時代からあるため池で、今も原初的な風景を残しており、かつては下流の水田を潤す水源の池でありました。



■ 観察ゾーン

雑木林と林縁草地、小川沿いに広がる湿地などが変化に富んだ自然環境を作り出し、さまざまな野草や樹木が保全された散策と自然観察のためのエリアです。雑木林の中をめぐるトレイル、湿地に面した観察デッキなどが設けられ、多摩ニュータウン開発地から移植保護されたカタクリが今では数千株に増え、早春に林縁をピンク色に染めます。



■ 外周緑地ゾーン

既存斜面林と植栽復元がされた緩衝緑地帯で、一部には竹林などを含み、タヌキなどの野生動物のすみかになっています。

■ 南エントランスゾーン

花木や低木、そして多様な樹木が植栽された公園南端の玄関口で、のびやかで開放的な芝生広場と展望スペースが配置されたエリアです。空気が澄んだ日には夕日展望台から丹沢や奥多摩の山々を望むことができます。

■ 多彩なイベントの実施

長池公園を中心に、81箇所の東由木地区公園の特性を活かしたイベントを「東由木みどりの学校」として実施しています。イベントは、感じることや気づき、学びの要素を大切に、自然観察やネイチャークラフトを主軸に、アート・レクリエーション・健康・スポーツまでをカバーした多彩な内容となっています。

■ 長池里山クラブ

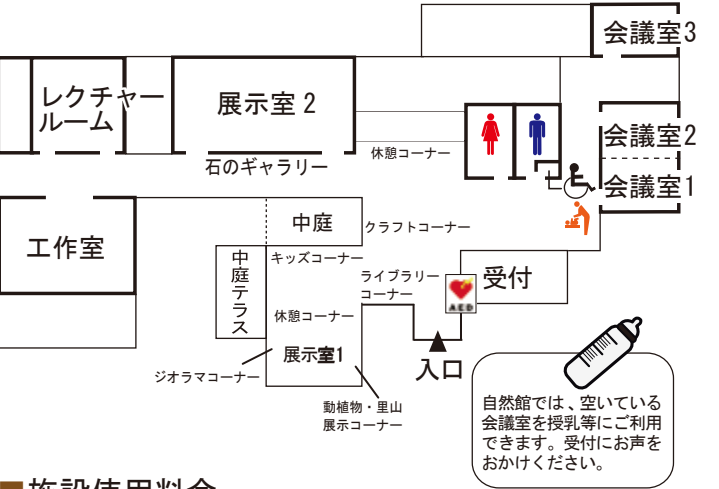
体験ゾーンで、稲作・野菜作り・炭焼きなどを柱とした里山活動を継続的に行う地域住民主体の団体です。里山の自然と文化を次世代に継承する担い手づくりを育てる目的で、公園開園とほぼ同時に設立され、会員制で運営されています。地域住民を中心に子どもから大人までだれでも参加でき、米作りを主体とした年間計画に基づき、自主活動と定例活動が展開されています。

長池里山クラブHP：http://www.nagaike.info



自然館施設利用案内

●入館は無料です。どなたでも自由にご覧いただけます。



■ 施設使用料金

	定員	午前 9時～12時	午後 13時～17時	全日 9時～17時
会議室1	8名	400円	500円	900円
会議室2	8名	400円	500円	900円
会議室3	8名	400円	500円	900円
レクチャールーム	45名	900円	1,200円	2,100円
工作室	36名	1,400円	1,900円	3,300円
展示室2	—	全日 4,400円		

※使用に関する詳細は電話または自然館受付にお問い合わせください。

※各部屋とも定員数を大幅に超えての使用はできません。

■ 自然館施設使用お申し込み方法

- ◇ 初めのご利用の際は、事前にお問い合わせください。（販売や営利目的の利用はできません）
- ◇ 予約は2か月前の1日より先着順で受付けます。お電話または自然館受付でお申込みください。
- ◇ ご利用の際は体験学習施設利用申請書にご記入ください。（申請書は自然館にあります。HPでもダウンロード可）
- ◇ 使用料は使用当日受付にてお支払いください。 ※その他、お気軽にご相談ください。

駐車場・トイレ利用時間案内

■ 駐車場

- 北エントランスゾーン（自然館駐車場）
（駐車可能台数：68台+思いやり駐車スペース2台）
夏期（3月～9月） 8：30～18：30
冬期（10月～2月） 8：30～17：30
- 南エントランスゾーン（やまざと駐車場）
（駐車可能台数：15台+思いやり駐車スペース2台）
夏期（3月～9月） 9：00～18：00
冬期（10月～2月） 9：00～17：00

■ トイレ

- 自然館内 9：00～17：00
※12月29日～1月3日は休館
- 体験ゾーン（里山トイレ）10：00～16：00
※自然館休館日および荒天日は使用できません。
- 南エントランスゾーン（さくらトイレ）24時間
※バリアフリートイレのみ 夏期（3月～9月） 9：00～18：00
冬期（10月～2月） 9：00～17：00